



At the heart of the image

写 真 部 応 援 マ ガ ジ ン

boys & girls photo magazine

No.248

Top Eye

Autumn 2008 10-11

第149回
TopEye賞

「無念」湯本千晴
(徳島県立鳴門高等学校2年)



交流の輪を広げよう!

みんなで作る!
FRIEND's EYE

2008年“写真の夏”イベント大報告!
第32回「全国高等学校総合文化祭」ほか

ガンバレ写真部!
香川県立坂出高等学校
「四国を写真でアツくする!」

視想講座 VOL.243
風間健介

「作品に注ぐ独自のひらめき」

斉藤式『TopEyeデジタル写真塾』その12
「光をもっとウマく活かそう!」

Nikon News

D90/D700 新発売

審査員 おおにし・みつぐ

1952年東京・深川生まれ。「違い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



TopEye賞

「無念」湯本 千晴

徳島県立鳴門高等学校2年
●D1X ●AF 300mm ●Pオート

ニコン D1X に 300mm をつけた競技場での撮影。それも雨の中。これはプロスポーツカメラマンの世界でもとても難しい撮影条件といえます。記録としての撮影から「作品」となると余計に神経を集中しなければならなかったのではないのでしょうか。まずアスリートと同じ地面の高さでのカメラアングルが秀逸です。そこには強い雨脚がはっきり描写されています。さらに正確なフォーカスと、仕上げの段階で周辺を暗くして、このランナーの悔しさを強調しています。ここまで冷静に作品を組み立てていける力量はすでに高校生の域を超えています。これから受験勉強と写真をどのように両立させていくかが大変かと思いますが、今は大人っぽくまとめないよう大胆に、どきどきアドバイスいたします。



表紙に大きく載ってるよ!!

準TopEye賞

「みんな集まれー!!」田口 はるな

千葉県立柏南高等学校2年
●D40 ●AF-S DX18-55mm ●1/320秒 f/10

作者も述べていますが、「楽しそうで、勢いがある写真」になっています。みんな北島康介選手を目指して真面目に練習しているのでしょうか、練習時間から解放されたひと時は、まさに「何も言えねえ!!」若者の楽しい時間です。このバラバラさ加減とこれから飛び込んでこようという二人の顔がほみ出しているところなど、全体として荒っぽいところが逆に魅力です。それでいてみんなの表情が個性的です。このあたりが自然な描写力。作者もカメラなど置いて、即刻ここに飛び込んでしまったかったときとっていますよね。



“10代がつくる写真のあり方とは?”／大西みつぐ

10代半ばのみなさんたちが撮るべき写真とはどんなものなのか、今回はずいぶん考えさせられてしまいました。TopEye賞の作品が桁外れに「上手」だからです。同じ作者の応募された複数枚すべて秀逸。これまで日本のアマチュア写真家さんたちがつくってきた伝統的な「テーマ」や見せ方をよく熟知した、たいへん重厚な作品世界です。それこそ権威ある「二科展」などへの入賞を目標に、全国のみなさんがしのぎを削っているような領域に入り込めるものです。天才がでてきた!と拍手したい反面、10代のみなさんはここまでうまくなくてもいいのかもしれない、という思いもあります。テクニックは大事ですが、それに縛られることなく、もろもろの約束事をはみ出していくような勢いやヤンチャさも必要です。完成度を上げることよりも、若さを素朴に浮上させた作品を密かに期待しています。

入選



「流青群」杉田 めぐみ

埼玉県立新座総合技術高等学校1年
●デジタルコンパクトカメラ ●オート

かつて鬼束ちひろが歌った「流星群」という曲がありましたが、このタイトルも素敵です。そしてとても動きを感じさせる構成です。見方によっては列車の窓を覗き込んでいるような雰囲気もします。どちらにせよ、画面の中に遠近感を見だしてそれを巧みに利用しています。また友達の顔をわざとはずして、ちょっと抽象的にしたところがうまいですね。

「この声が枯れるまで」
高嶋 恵理

香川県立坂出高等学校2年
●D80 ●AF-S DX18-70mm ●Pオート

テーマとしては特別に珍しいものではありませんが、丁寧に撮影しプリントしている点、そして組写真としてよくまとまっている点を評価いたしました。1枚目を受けて2枚目、そして3枚目にそうした声援やプラスバンドの応援の音楽がすべて一体となって高い夏空に抜けていくという構成。熱さや爽快感もここにイメージとして漂わせています。



「季節の瞬間」
坂口 理沙子

愛知県立千種高等学校2年
●デジタルコンパクトカメラ ●オート

夏休みを感じ取った季節感、いつまでも鮮やかで色あせることはありません。暑くてたまらないのだけれど、そうした感覚的な刺激、いや身体で感じ取ったイメージこそが大事なのだと思います。3枚の構成がなかなかよく出ています。特に2枚目の少年がいい。雲がモクモクと湧くのと同じように、そこにふいに立ち現れてしまった幻のように見えてきます。



第149回 TopEye賞受賞

湯本 千春さん

受賞のコトバをどうぞ!!

TopEye賞ありがとうございます。ずっと欲しかった賞なので、今の気分は“最高にうれしい”です。この写真は、県の高校総体を撮影したものです。雨の中、悔しがる選手の姿を、うまく表現できたと思います。我が高校も今年の春から写真同好会ができ、少ない部員数ではありますが、一生懸命に活動しています。これから心に残る写真をたくさん撮っていきたいと思います。次回も連覇を狙って頑張ります! 本当にありがとうございました。



もうヒトイキDE入賞!! ※順不同

●「夏」須崎陽子 鳥取県立鳥取豊学校高等部1年
●「眠く」加藤美香 鳥取県立境高等学校2年
●「表情」大平頼果 東京都・正則高等学校3年
●「笑顔」山地位絵 香川県立坂出高等学校3年
●「無理!」柳 将吾 新潟県立松代高等学校1年
●「顔」千代倉彰子 東京都・東洋英和女学院高等学校1年

●「アトリエ」名嘉来実 沖縄県立真和志高等学校3年
●「野ネコ」中村真美 愛知県立半田農業高等学校1年
●「虹をかける少年」松崎郁弥 長野県伊那北高等学校2年
●「明暗」菱木みゆき 千葉県・敬愛大学八日市場高等学校3年
●「祭りの前に…」中村真央 熊本県・八代白百合学園高等学校1年
●「メタボねこ」南部春葉 三重県・メリノール女子学院高等学校3年
●「君と僕はいつもいっしょ」加藤沙知 香川県立坂出商業高等学校2年
●「カラーがモノクロに恋をした!」狭間英理子 千葉県立柏高等学校2年
●「町のおもちゃ屋のひととき」中條知佳 新潟県立十日町総合高等学校3年

次のページでは
写真入りで
紹介するYO!!



デジタル
一眼レフカメラ
賞状デジタル
コンパクトカメラ
賞状ニコンオリジナル
カメラバッグ、賞状ニコンオリジナル
ポーチ、賞状

次回応募締切は

2008年 11月10日
(当日消印有効)

※応募に関する注意事項は応募用紙を確認してね!!

※号で年間賞が決まるよ!

応募用紙はサイトからも
ダウンロードできるよ!入賞作品はニコイメージングの
サイトで掲載中!チェックしてみよう!<http://www.nikon-image.com/jpn/enjoy/gallery/topeye/>

佳作



「キラキラJK」

宋戸 紫織

熊本県・八代白百合学園高等学校2年
●デジタルコンパクトカメラ ●Pオート

全国規模の高校コンテストですと、高校生らしくないとかで、なかなか入賞できないかもしれません。しかし私は支持します。あまり過激なものは困りますが、作者がいうように「女子高校生の違一面」は確かにみんなが持っている世界。キラキラした時間は今しかないのですし、それを美しく表現してみようというクリエイティブな心は素敵です。



「朝」竹安 麻莉奈

東京都・東洋英和女学院中学部1年
●デジタルコンパクトカメラ ●オート
●ISO100

デジタルコンパクトカメラを虫メガネのようにして接写撮影です。ここまで見えてしまうことって面白かったのではないのでしょうか。なんだかいつも感じてはいたけれど、ここに「大きな世界」があるのですね。もちろん、蟻と植物だけでなく、木目にも「年輪」という歴史があるように。



「水中遊泳」相澤 淳一

茨城県立多賀高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-70mm
●Sオート (1/40秒) ●ISO400

今月も女子ばかり入賞と思いきや、これは男子の作品。でもカワイイ。カワイ過ぎるように「トーンカーブ補正」を少し強めてのプリント。このぐらいの強調であればギリギリ許せますね。私たちの夢の中でユラユラと泳いでいる幻想的な金魚に思えてきます。ここからさらなるイメージを落ち着いて探求してみましょう。まだまだいろいろなものが撮れるはず。



「きみと生きる」吉野 由花

神奈川県・川崎市立川崎総合科学高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Pオート

「きみ」はどこから来たのかな。「きみ」はしっかり誰かに包まれています。「きみ」はちょっと眠たげで気持ちよさそう。「きみ」はこれからなんて呼ばれるか期待していると思う。「きみ」は「あなた」だし、「わたし」でもある。なんだかとても温かくて、フワフワしてかわいくて、そうした感じがよく表れている2枚です。



「仲良し夫婦」関谷 美奈子

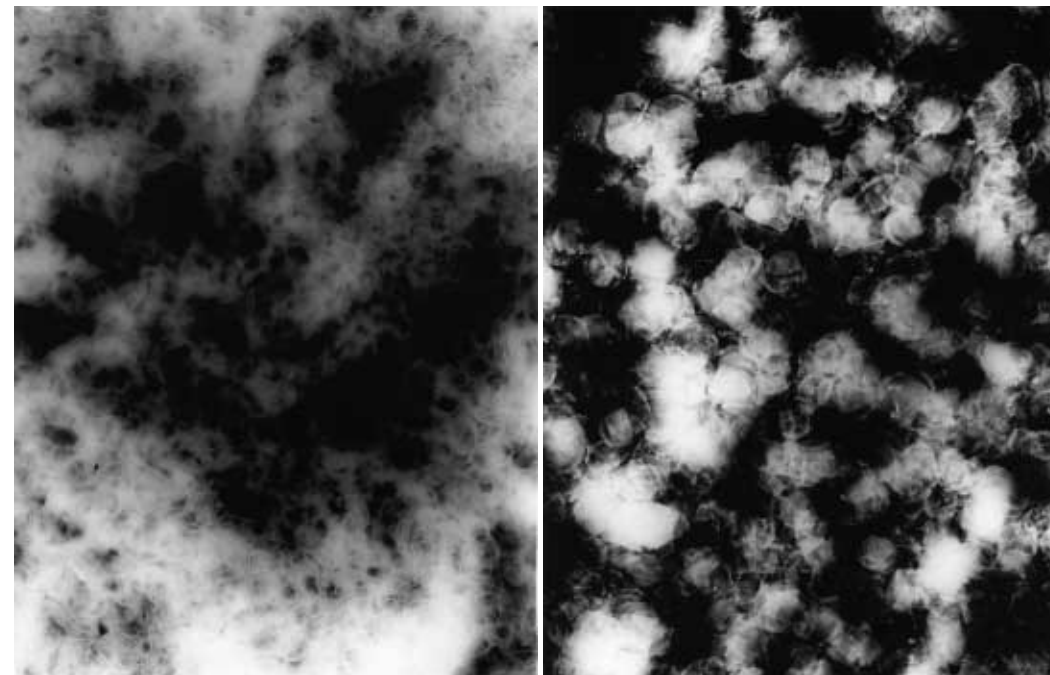
新潟県立十日町総合高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Pオート

人のよさそうなお母さんと、律儀そうでちょっとはにかんでいるお父さん。似た者夫婦とはいいますが、やっぱりこの絶妙な組み合わせは夫婦ならでは。色調が暖色系に働いたこともあり、雰囲気余計に盛り立てています。こんな魚屋さんの鯛ならきっと最高に美味でしょう。店内の様子ももう少し撮れるよう、ちょっと引いて撮ってもよかったと思います。

視想講座

VOL.243 風間 健介

作品に注ぐ独自のひらめき



■上左:「AGE」 ■上右:「UROKO」 ■下左:裏返して撮影した東京・銀座 ■下右:裏返して撮影した東京・新宿

固定観念。こいつがいちばん厄介です、創作をする上で。若い人達の作品を見ても、風景写真ならこう、人物写真ならこう、と似たようなものが多い。写真家の誰々風とかね。それはカメラを手にして「何を写真に収めるか」から考えるからかもしれません。その点、美術系の学生に撮らせると面白い。まず「どんな作品を創りたいか」を考え、その後に必要なカメラや道具を考えるから。自由な発想が写真を広げるんです。

写真も芸術。何より発想が大事。僕もアイデアを考えて表現します。よく知られた風景を撮って、ネガを裏返しにして焼いたらどうだろうとか(写真:下左・下右)、カメラやフィルムを使わずに写真を作れないかと油揚げや魚のウロコをネガキャリアに直接挟んで焼いたり(写真:上左・上右)。突飛じゃなくても何か発想を加えると、新

しい世界が広がる。自分だけの作品が創れるんです。わざわざ遠くに行かなくてもいい。椅子しかなければ椅子を撮る。例えば水をかけるとか、自分なりのカラーや手を加えればいい。そこが大切なんです。

発想はタダ。しかも誰にでもできる。これをやらない手はない。かといって経験や選択肢が少ない若い頃は、なかなか難しい。むしろ発想の基となるものを創るべき時期。だから、色々な芸術に触れてほしいです。写真だけじゃない。いや、むしろ写真以外の芸術にこそ。図書館に行けば、様々な芸術の本が揃っていますからぜひ見てほしいです。そうして内に積もらせた感性が自分の発想を生む。写真につながるかもしれないし、他の芸術につながるかもしれない。自由に、自由に。固定観念に縛られることが、最もつまらないですから。

風間 健介

Profile

1960年三重県生まれ。高校在学中よりミュージシャンを撮影し、卒業後は東京でカメラマンとして活動。89年から06年まで北海道夕張市に居住し、05年に発表した写真集『夕張』が話題を集める。02年第18回東川賞特別賞、06年日本写真協会新人賞・写真の会賞・地方出版文化功労賞奨励賞受賞。写真にとどまらず、書、平面、音楽など幅広い創作活動に取り組む。[左記署名も風間氏の筆によるもの]



風間健介ホームページ
<http://babachop.net/kazama/>
<http://www2.ocn.ne.jp/~kazama/>

まろいキッズ
S.T.キッズ●「甲子園に向けて」知念 愛佑美
沖縄県立南部工業高等学校2年

構成などはなかなかしっかりしています。しかし、手前の素朴なボールのグレンジョンがしっかり描かれていません。カメラのそばに白い紙などを置き、その反射した光をボールにちょっと当ててあげるとよかったです。

●「理科室の番人」益本 良輔
広島県立廿日市西高等学校3年

オブジェとして面白いものですが、ちょっとフラットなトーンになってしまいました。もう少しビビッドな色彩で描いて欲しいと思います。赤系統の彩度を上げるのではなく、全体のコントラストをわずかに上げて、明るさをわずかに落とします。

ガンバレ写真部!!



四国を写真でアツクする! 香川県立坂出高等学校



DAIGOポーズで
キメッ!!

(後列左から)1年今川さん、本多さん、濱岡さん、竹田さん、長谷川さん、2年小松さん、1年藤井さん、松繁先生、(2列目)部長・2年大塚さん、葛原さん、東谷さん、高嶋さん、1年大前さん、(前列)3年山地さん、樋口さん、玉井さん、三井さん、松下さん、豊嶋先生



▲顧問の豊嶋先生。
ときに“部員の口から飛び出したり”する
愉快な方だ。



▲部長の大塚さん(右)と前部長の松下さん。

- 部員：18名(3年生5名、2年生6名、1年生7名)
- 活動：各自で撮影、文化祭での展示、校内活動の撮影など
- カメラ：個人所有のカメラ+学校所有のカメラ
- 収入：生徒会から45,000円+必要に応じて部員から徴収
- 支出：フィルム・印画紙・薬品・インク・ジェット用紙・インク代など

裏ルール!? 部費不足が悩みのタネ。コンテストで賞金を個人的にGETしたら3分の2を部に寄付し、みんなで使うんだって。エライ!

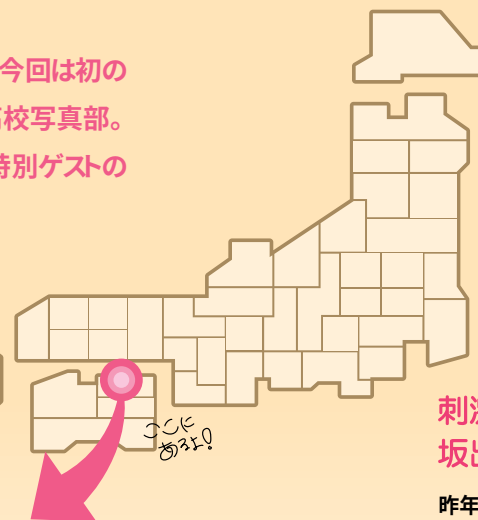
撮る子は育つ 観られる子も育つ

総勢18名となかなかの人数を抱える同部。活動日は決まていないものの、ほぼ毎日みんなで集まっているというこの部に“幽霊部員”なんて言葉はなし。個人個人の裁量にまかされている撮影も、「新しい景色に出会うと“ワーツ!”とテンションがあがり、1時間に100カット撮ることもある(笑)」という証言が聞かれるほど、写真ラブな面々が揃っている。作品発表の場は、写真展や学校のホームページ。人に観てもらうことは“ちょっと恥ずかしいけどうれしい”と、いい励みになっているそう。コンテストにだってバシバシ応募して腕を試します。

坂出高校ホームページ(Top→文化部→写真部)
<http://www.kagawa-edu.jp/sakadh01/>



←写真部
ご用達モデル?



刺激的ィ〜で 魅力的ィ〜な 坂出商業高校との関係

昨年から画期的なチャレンジをスタート。それは他校との合同写真展! お相手の坂出商業高校が取材にも飛び入り参加してくれたほど、両校は密な関係なのだ。とはいえソコは別の学校。仲良くなるのは難しいんじゃないかと聞いてみれば、写真展の用意をしながら「この猫の写真とった人?」とか言いながら、作品を通じてドンドン親しくなるらしい。さっすが! 今では写真展だけでなくとまらぬ熱い友情が芽生え、写真大会で互いの腕を競ったり、共に結果がふるわず慰め合ったり。お互いに刺激し合う(良きライバル&良き仲間)なのだ。ナイスコラボレーション! 今後も高校写真界を坂出地区が盛り上げますよ〜。



▲なんて悪い関係ではなく、
写真でつながる仲間。



抗争勃発!?
TEAM坂出 VS TEAM坂出商業



「どっからでもかかってこんかい!」と
火花パッチパチ

部活が数倍楽しくなる 坂高流・秘夏合宿

写真を好きなことはもちろんだけど、モチベーションを維持するのに、意外と大事だったりするのが部の雰囲気。坂高写真部は、その辺りもバッチリ。そのヒミツは「夏合宿」に。合宿といえば撮影旅行...と普通は思うんだけど場所は学校。しかも教室! 先生&先輩が1年生にミッチリ暗室作業を教えこむのだそう。それも泊まりこみで。となると暗室作業だけに納まるわけもなく、肝だめしが始まったり、王様ゲームをしたり、罰ゲームで牛乳+青汁の特製ジュースを飲んだり(オエーッ)。徹夜でコミュニケーション! 結果、プリント技術は上がるわ、結束は固くなるわで、部活の楽しさが倍以上に。なるほど。“写真はコミュニケーション”とはよく言うけれど“写真部もコミュニケーション”ってコトですね。ナイス!



▲特別ゲスト
坂出商業のみなさん。

暗室作業もバッチリ

暗室は贅沢にも2つ。フィルム乾燥機まである充実ぶり。プリント作業もキッチリと。



めでたく部室をゲット

今年から部室を獲得。大きさは普通教室の半分と、かなり広い。たまり場(?)がで、部員同士のコミュニケーションがさらにUP。



掲示版
坂高にまつわる
カクカクしかじが
カバン

「写真とは何か」を見つめて

高文連から

香川県高等学校文化連盟写真専門部 副部長 安藤秀明

香川県内には写真部のある高校が20校程度しかありませんが、高文連行事以外にも合同写真展や合同合宿など活発に活動しています。11月実施の展示会は、現在もモノクロ銀塩プリントでの応募が中心ですが、近年デジタル写真での出品数が急激に増加しています。そこで、写真専門部ではリーダー研修会(6月)、アーティスト・イン・スクール(本県ゆかりの優れた芸術家を招いての講習会:8月)において「撮

る」を選ぶを中心に、写真や写真活動を見つめる」活動を進めています。また、モノクロプリント技術向上のために技術講習会(10月)を行っています。



本年度のアーティスト・イン・スクールの様子



前から見ると
フツーなんですけど...
「写真が好きだ!」
の文字。
ド直球の言葉で
アピール。



熱〜い
オリジナルTシャツ

色もデザインも自分たちで考えた
写真部Tシャツ





齊藤式 Top Eye デジタル写真塾 その12

光をもっと

Eye:

先生、これまで色々教えてくれたでしょ。おかげで納得できる写真が撮れるようになってきた気がするの。そうすると写真がさらに楽しくなるね。もっと楽しむために、もう一歩成長できるコンを教えてほしいな。

サイトウ先生:

それにはやっぱり光の活かし方だね。被写体や構図が一緒でも、光をどう扱うかでイメージが大きく変わるから。これまでにちよっとずつ勉強してきたけれど、あらためて作例を見ながら光の効果を実感しよう。撮影データも掲載するから、ぜひ自分でも効果を確認してみて。



1

光量を調整 (= 露出補正) し、被写体を強調

光をいっぱいにうけた被写体がキレイだから撮影したのに、肝心の被写体がとんでいた…。なーんて残念な経験をもつ人も多いよね。それは前号で学んだ**露出補正 (光の量を調整すること)** すれば解決するんだよ。作例では桜の花が白くとんだため、マイナス側 (光量を減らす) に露出補正。白とびが解消されたよ。

最初のカット



そのまま撮影すると、桜の花が白くとんでしまった。

撮影データ: Nikon D1X, AF-S VR24-120mm F3.5-5.6G, 絞り優先オート (f/5.6), 露出補正 (なし), ISO 200

露出補正後のカット



花の白とびもなくなり、さらには背景が暗くなったことで花も強調されたね。

撮影データ: Nikon D1X, AF-S VR24-120mm F3.5-5.6G, 絞り優先オート (f/5.6), 露出補正 (+0.7), ISO 200

POINT

光の当たっている被写体を強調するためには、影部分の活かし方を考えよう。



2

夕焼けが朝焼けに！ 絶大な効果を発揮

まずは作例を見てみて。これ実は2つとも同じ時間に撮ったんだよ！ビックリした？撮影場所はモルディブ。早朝の太陽が昇るシーンだったんだけど、逆光だったから夕暮れみたいな雰囲気になってしまった。そこで露出をプラス側に補正。すると朝日の雰囲気バッチリ！ 光を調整するだけで、こんなに変わるんだ。

最初のカット



日の出なのに逆光が影響して、なんだか夕暮れどきみたいになっちゃった。

撮影データ: Nikon D3, AF-S 24-70mm F2.8G ED, 絞り優先オート (f/11), 露出補正 (なし), ホワイトバランス (オート), ピクチャーコントロール (スタンダード), ISO 200

露出補正後のカット



全体的に明るくなっただろう？ これなら誰が見ても朝の風景だね！

撮影データ: Nikon D3, AF-S 24-70mm F2.8G ED, 絞り優先オート (f/11), 露出補正 (+0.7), ホワイトバランス (オート), ピクチャーコントロール (スタンダード), ISO 200



ウマく活かそう！

3

被写体を輝かせるため、光を補う！

逆光や半逆光など光の加減で被写体にヘンな影が出たり、暗くなることもある。そんな時は光を補えばイイんだ。作例でも、光が左上から半逆光状態になっているので、強い影が発生して暗くなってしまった。**光の射す方に向かって (作例では写真の右下に配置)、白い紙をレフ板代わりに使って光を補ったよ。**すると、画像全体が明るくなっただろう！

最初のカット



ケーキに強い影が発生して、なんだか暗いイメージに…。ちょっとおいしそうじゃないね。

撮影データ: Nikon D700, AF-S VR24-120mm F3.5-5.6G, 絞り優先オート (f/16), ホワイトバランス (オート), ピクチャーコントロール (スタンダード), ISO 200

光を補った画像



影がやわらいで全体的に明るくなった。ケーキもとってもおいしそう！

撮影データ: Nikon D700, AF-S VR24-120mm F3.5-5.6G, 絞り優先オート (f/16), ホワイトバランス (オート), ピクチャーコントロール (スタンダード), ISO 200

白い紙をレフ板代わりにして光を補うと…

POINT

白い紙ならすぐに用意できるよね！ 光を補うと人物もキレイに撮れるよ。



4

長時間露出で “アートな演出”

夜の遊園地、高速回転する乗り物の撮影にトライ。普通に撮影したカットは光の帯がなんだか中途半端になってしまった。こういう場面は光を上手く演出してあげることが重要になってくる。そこで**シャッター速度を遅く、つまり露出時間を長くして光を長く集めるようにしたらググッと良くなったよ。**

最初のカット



キレイはキレイだけど、光の帯が少し中途半端…。なんだか物足りない。

撮影データ: Nikon D1X, AF-S 17-35mm F2.8D, 絞り優先オート (f/5.6), シャッター速度 (1.5秒), ホワイトバランス (オート), ISO 200

長く露出した画像



すると乗り物の光が帯状に繋がって、まるで光のオブジェようになった。大成功！

撮影データ: Nikon D1X, AF-S 17-35mm F2.8D, 絞り優先オート (f/11), シャッター速度 (5秒), ホワイトバランス (オート), ISO 200



シャッター速度を遅くして、露出時間を長くした

なんでかとてもアートな雰囲気！



光が、こんなに作品を左右するなんて！ これからもっと光に気をくばって撮影するぞ〜！

光の活かし方をマスターすると、確実に写真は変わってくるから、意識して撮影してね。

次回のテーマは

モノクロ写真に挑戦

カラー写真を撮っている人が多いと思うけれど、独特の味があるモノクロ写真に興味を持っている人も多いはず。次号で一緒に勉強しようね。



フレンズアイは、みんなに役立つ情報を紹介するコーナーです。投稿も熱烈大歓迎! 写真展の告知に、部活動の自慢・相談。「この写真集、とにかくイイから見て(興奮)!!」なんて報告もOKです。この場を利用して全国に情報をガンガン発信しちゃってください。たくさんの投稿、待ってますよ〜。

私たちの夏イベント

撮って、撮って、撮りまくった! 2008年“写真の夏”イベント大報告!

今年の夏も、各地で多数の写真イベントが開催されました。全国規模のモノあり、国際交流あり、先生のイベントもあり。なんと充実した夏でした。ほんの一部ですが、ここでご紹介いたします。

その1

8.6-8.10

第32回「全国高等学校総合文化祭」

日本でイチバン“暑い”、いやいや、“熱い”イベントが群馬県で開催されました。それは全国高総文祭! 高校文化部が部門ごとに交流する大文化祭に、各地から高校生(おそらく数千人!)が駆けつけ、盛り上げました。もちろん我らが写真部門も、大・大・大盛り上がり! 各都道府県選出の作品をはじめ約410点が展示された写真部門会場で同年代の作品に見入ったり、交流会で初対面のみんなとゲームを通じて仲良くなったり。そして、そして、撮影会。一ノ倉沢や諏訪峡で行われた各撮影会では、雄大な自然のなかでシャッターをバシバシ。参加したみんなは写真を真ん中に、アチコチで絆を深める有意義な時間を楽しんでいました。来年は三重県の開催。今年参加できなかった人もぜひ訪れてください。

「2007年 TopEyeフォトフォトサロン 入賞作品展」も開催!



写真部門展にはニコブースも設営。ズラリと展示されたフォトフォトサロンの入賞作品に、訪れた人々も興味津々。全国の写真ファンに大きくアピールしました。



写真部門会場に飾られたダルマ。写真を貼り合わせて作ったもの。スゴイ!



交流会では名刺代わりに自分の作品を交換。



いちばん盛り上がったのは、やはり撮影会! カメラを持つと、みんなのテンションはさらに上昇。



その2

8.5-8.9

第4回「日韓高校生写真交流の集い」

「写真は国境をヒョイッと越える」。このことを教えてくれたのが、日韓高校生写真交流の集いです。日本・韓国の高校写真部員が互いの国を訪れて交流するこの取り組み。日本での開催は8月5日(火)から9日(土)の5日間。当初は緊張ぎみだった両国メンバーも、お互いの写真を見あったり、撮影会に共に取り組むと、すぐに言葉の壁を軽々と越えて仲良くなっていました。「写真は世界共通の言葉」。あらためて実感したみんなは、ますます写真が好きになった模様でした。



8月13日(水)〜17日(日)は韓国を訪問しました。



交流会で撮影した 日韓高校生の作品が見られる!



全国高等学校文化連盟 写真専門部 日韓高校生写真交流の 集い写真展

■ 日時: 12月11日(木)〜12月17日(水)
11:00〜19:00(最終日は15:00)
■ 場所: ニコンサロンbis大阪(06-6348-9698)

その3 高文連&JPS開催

8.4&8.29

「デジタル写真講座」

平成20年度 全国高等学校文化連盟写真専門部顧問 技能講習会



8月、全国高等学校文化連盟とJPS(日本写真家協会)の共催で、写真部顧問の先生方を対象に写真講座が開かれました。開催地は愛知(8月4日)と千葉(8月29日)。先生方は、デジタル写真の基礎・プリント講座から撮影実習までアタマとカラダを使う盛りだくさんの内容をババフルにこなし、デジタルフォトを真剣に学ばれていました。先生方だってこれほど熱心に写真のお勉強をしているのです。みんなもぜひ見習ってくださいね。

その4

第5回 「高校生デジタル写真塾」 in大阪

6.15

『月刊カメラマン』と(株)ニコイメージングジャパンが共催する大好評企画「高校生デジタル写真塾」。6月15日(日)、第5回を大阪で開催しました。会場の大阪芸術大学には関西の写真部が大集合。写真講座からデジタル一眼レフカメラD60撮影体験・プリント講座まで、たーっぷりとデジタル写真を学びました。盛り沢山の内容に疲れたかな?と思えば、「スタジオ撮影、おもしろかったわ〜」「デジタル最高!」と元氣イッパイ。大満足してくれた様子でした。

●主催:(株)ニコイメージングジャパン/月刊カメラマン
●協賛:大阪芸術大学 協力:エプソン販売(株)



NEWS-1

ファン待望のモノクロ写真集 大西みつぐ先生

ワンダーランド

写真集『Wonderland』発売中

大西みつぐ先生のモノクロ写真集『Wonderland』が発売されました! 先生がモノクロ写真集を出されたのは実に19年ぶりのこと。東京の下町を中心に1990年から2006年にかけて撮影した作品88点収録という珠玉の一冊です。一点一点をじっくりと眺めていくと、時代と共に変容していく風景、しかしどこか変わらない東京の情景が胸にジリジリと迫ります。この一冊をじっくりと鑑賞するのはもちろん、モノクロ写真集の前作『WONDERLAND 1980〜1989』と並べ、26年にわたる東京の変貌の目撃者となるもよし、5月に発売された先生のフォトエッセイ集『東京手帖』と並べてカラー写真とモノクロ写真双方を楽しむもよし。芸術の秋、大西ワールドにどっぷりと浸られてはいかがでしょうか。



いそいそと町に出る
淡々と歩く黙々と写す
20世紀少年の愛しき町よ
どこへ行く!
1996〜2006年、
僕が「東京」ここにあり

『Wonderland』大西みつぐ
(日本カメラ社 四六判 96頁 モノクロ写真88点 ハードカバー 税込3,780円)

NEWS-2

TopEye4-5月号に登場

世界の先に広がった“足元の世界”石塚 元太良さん

インナー・パスセージ

写真集『INNER PASSAGE』

本誌「視想講座vol.241」に登場した石塚元太良さんが、写真集『INNER PASSAGE』を発表されました。アラスカでパイプラインを撮影するなど作品を発表するたびに斬新な視点で読者の感性を揺さぶってきた石塚さん。世界を旅し、常に“まだ見ぬ景色”を探しもててきた彼が今回たどり着いた場所、それは東京。しかも、ただの東京ではありません。川にカヌーを浮かべ水面からの撮影にトライ。思わぬ角度から切り撮った東京の景色を私たちに届けてくれました。視点を換えること、自分の視点を見つけることの大切さを教えてくれる石塚さんの写真集。ぜひページをめくってください。



『INNER PASSAGE』
石塚 元太良
(株式会社エスプレ 31×26cm
108ページ 税込2,940円)

NEWS-3

世界&プロに同時挑戦! NO.1はキミかも!

ニコン フォトコンテスト インターナショナル 2008-2009

みなさんは知っていますか? 「ニコン フォトコンテスト インターナショナル」を。それは“応募資格のないコンテスト”。つまり、プロもアマチュアも、国も年齢もまったく関係なく、みんなが同じステージに立って勝負するコンテストです。グランプリに輝くのは、おじいちゃんかもしれない、小学生かもしれない。そして今TopEyeを読んでいるアナタかもしれない!! 副賞はデジタル一眼レフカメラD3他豪華な賞品がたくさん。みんなのチャレンジを待っています。応募の詳細はホームページで確認してくださいね。
※18歳未満の方は、保護者の同意を得たうえで応募ください。

「ニコン フォトコンテスト インターナショナル」サイト
<http://www.nikon-image.com/jpn/activity/npci/npci2008-2009/index.htm>

応募用紙はTopEyeに同封しているよ!

ぞくぞく登場、COOLPIX きっと見つかる、君の1台。

※価格はすべてオープンプライスです。

COOLPIX S60

9/19
新発売



パールグロスブラック ワインレッド ロイヤルピンク リッチゴールド

COOLPIX P6000

9/12
新発売



ブラック
10/24 発売予定
外付けファインダー NH-VF28 (P6000専用)
希望小売価格: ¥25,000円(税込¥26,250円)

COOLPIX S710

8/29
新発売



アーバンブラック ディープレッド

COOLPIX S610

8/29
新発売



レッド オシャンブラック

COOLPIX S610c

8/29
新発売



シルバー

COOLPIX S560

8/29
新発売



ピンク シルバー

COOLPIX S210

ブライトシルバーに加え新色レッドが新発売!

9/19
新発売



レッド

EISAアワード受賞! アフターサービスお客様満足度4年連続No1

デジタル一眼レフカメラD3、ニッコールレンズAF-S 14-24mm F2.8G、AF-S 24-70mm F2.8Gがヨーロッパの権威ある映像・写真関連の「European Imaging and Sound Association(EISA) Photo Award」の各賞を受賞しました! また、ニコンは、日経ビジネス誌「2008年版アフターサービス満足度ランキング」の「デジタルカメラ部門アフターサービス満足度」第1位も受賞。製品・サービスともにお客様から高い評価をいただきました。

D300の高性能とD80の使いやすさを 継承したニューモデル登場!

9/19
新発売

D90

価格:オープンプライス

DX フォーマット	有効画素数 12.3 メガピクセル	ISO感度 200~3200
液晶モニター 広視野角 3.0型	高速起動 約 0.15秒	



- 約620gの小型・軽量ボディ
- 視野率約96%、見やすく抜けるよいペンタプリズム使用のファインダー
- デジタル一眼レフカメラの新しい表現・動画撮影機能「DMービー」
- モニターで被写体を確認しながら撮影できるライブビュー機能

表現にこだわるフォトグラファーのための FXフォーマット デジタル一眼レフカメラ

7/25
新発売

D700

価格:オープンプライス

FX フォーマット	有効画素数 12.1 メガピクセル	ISO感度 200~6400
液晶モニター 広視野角 3.0型	高速起動 約 0.12秒	



Lenses & Accessory

12月
発売予定

AF-S NIKKOR 50mm F1.4G

希望小売価格:¥60,000 (税込¥63,000)



9/19
新発売

AF-S DX NIKKOR 18-105mm F3.5-5.6G ED VR

希望小売価格:¥65,000 (税込¥68,250)

8/8
新発売

PC-E Micro NIKKOR 85mm F2.8D

希望小売価格:¥300,000 (税込¥315,000)

7/18
新発売

PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED

希望小売価格:¥300,000 (税込¥315,000)

7/25
新発売

SB-900(スピードライト)

希望小売価格:¥65,000 (税込¥68,250)

D60キャッシュバックキャンペーン実施中

期間:11月3日(月)まで (申込締切11月17日(月))※当日消印有効

デジタル一眼レフカメラD60・D60レンズキット・D60ダブルズームキットをご購入された方を対象に、キャッシュバックキャンペーンを実施中です。詳しくはキャンペーン応募用紙、ニコンホームページでご確認ください。

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/jpn/activity/salon/>

銀座ニコンサロン (03) 5537-1469 10:00~19:00 (最終日は16:00)

- 染谷 学「温泉の町」 10/15~10/28
- 松本 泉「晴れと雲の狭間」 10/29~11/11
- ERIC「中国好運 (Good Luck China)」 11/12~11/25
- 石川直樹「Mt.FUJI」 11/26~12/9
- エマニエル・リヴァ「HIROSHIMA 1958」 12/10~12/29

新宿ニコンサロン (03) 3344-0565 10:00~19:00 (最終日は16:00)

- 山崎節男「海のセラビー2」 10/7~10/20
- 高橋耕平「No Man's Land」 10/21~11/3
- Juna21 谷角 靖「Screen of the Earth -US National Parks-」 11/4~11/10
- 清宮 悠「しゃぼん玉の中の小さな世界」 11/11~11/24
- Juna21 永沼敦子「虹の上の森」 11/25~12/1
- 第33回伊奈信男賞受賞作品展 12/2~12/15

ニコンサロンbis (03) 3344-0565 10:00~19:00 (最終日は16:00)

- ニッコールクラブ「魅惑のバリ」撮影ツアー作品展 10/14~10/20
- 第27回日本スキー写真家協会「白の残像 2008」 10/21~10/27
- 菊島郁俊「下町の人〜向島界隈〜」 10/28~11/3
- Juna21 新 拓生「黙殺の視線」 11/4~11/10
- 岡田正人「うつせみ〜足尾銅山が残したもの〜」 11/11~11/17
- 平野直子「風のゆくえ 都市のドラマを写して」 11/18~11/24
- Juna21 瀧口浩史「窓-SOU-」 11/25~12/1
- 第10回三木淳賞受賞作品展 12/2~12/8
- 三木淳賞奨励賞受賞作品展 12/9~12/15

大阪ニコンサロン (06) 6348-9698 11:00~19:00 (最終日は15:00)

- 渡邊博史「Ideology in Paradise」 10/9~10/22
- 全日本写真連盟「全日本写真展2008」 10/23~10/29
- 山崎節男「海のセラビー2」 10/30~11/5
- 山内道雄「TOKYO」 11/6~11/19

- 鷺尾和彦「極東ホテル(THE HOTEL FAREAST)」 11/20~12/3
- Juna21 Stephan Rapke「PANORAMIX」・長島一剛「間」・John Sygal「Gaijin Like Me」・西岡寛子「愛のかたち〜大切なものが手の上にあるとすれば〜」 12/4~12/10
- 第14回酒田市土門拳文化賞受賞作品展 奥田彰人「HAPPY PEOPLE」 12/11~12/17

ニコンサロンbis大阪 (06) 6348-9698 11:00~19:00 (最終日は15:00)

- 杉江輝美「こぼる物語」 10/16~10/22
- ニッコールクラブ「魅惑のバリ」撮影ツアー作品展 10/23~10/29
- 飯屋千穂「組曲〜よどか〜」 10/30~11/5
- 長島敏春「水中スナック 白化するサンゴ礁」 11/6~11/12
- 読売写真クラブ「2008 西日本読売写真クラブ選抜展」 11/13~11/19
- 三木昭生「隠棲」 11/20~11/26
- 森本富雄「私景飛鳥」 11/27~12/3
- Juna21 Stephan Rapke「PANORAMIX」・長島一剛「間」・John Sygal「Gaijin Like Me」・西岡寛子「愛のかたち〜大切なものが手の上にあるとすれば〜」 12/4~12/10
- 全国高等学校文化連盟 日韓高校生写真交流の集い写真展 12/11~12/17

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

『Top Eye』へのご投稿・情報ご提供・お問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikonoa.net
TEL:03-3769-7960